

入学前教育プログラムのご案内

I. レポート課題

総合政策学部での学びに具体的なイメージを描くため、現在、世界で起きている問題を取り上げ、資料に基づいてその問題を分析することで、解決に向けて自分の意見をまとめる能力を養うことが目標です。

課題の詳細:

次の URL または QR コードから確認してください。※2022 年 1 月 18 日(火)9:00 公開予定

総合政策学部ホームページ トップ画面「受験生の方」⇒「入学前教育プログラム」⇒「総合政策学部入学前教育プログラム(2022 年 4 月入学生用)」からもアクセス可能です。

URL: https://www.kwansei.ac.jp/s_policy/nyuugakumaekyouikuprogram_2022



1. 概要

次の課題1～課題3で最も興味を持ったものを1つ選び、指示に従ってレポートを作成してください。

課題に必要な文献は、原則購入いただくか図書館で借りていただくこととなりますが、購入に際しては紙媒体ほか適宜、電子媒体(kindle 等)も利用してください。

2. 解答にあたって

- ① レポートや論文を作成する際、他人が書いた文章を『^{ひょうきつ}剽窃』することは絶対にしてはいけません。
剽窃チェックにより、その事実が発覚した場合は学部から指導を行います。

剽窃とは、他の人によって書かれた論文、概念、文章等の著作の一部または全部を、あたかも自分自身が書いたものとして使用すること。あるいは、自分が書いたものと読んだ人に誤解を与えるように表記して「使用」すること。

- ② レポート作成の際、自分の意見と資料の引用内容を明確に区別して記述するよう留意してください。文献の引用・参照のルールは多様です。「総合政策学部入学前教育プログラム(2022 年 4 月入学生用)」ページ(以降、入学前課題プログラム HP)内、<参考資料>に掲載している次の資料に準じて作成してください。
『基礎演習ハンドブック(P.38-43)<第 2 章 レポート・論文の書き方入門>』
『[サンプル論文]どうすればよい論文になるのか?』
- ③ レポートは「です・ます」体ではなく、「である」体で執筆し、同級生でも理解できるような平易な文となるよう心掛けてください。

3. 提出について

【提出期間】 2022年4月1日(金)17:00まで

【提出場所】 <https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MATZn9TuPk6aWibNlnls0c3ZzZsUINFmWla0F8-ueZUQ05ZWELzN1pEWDhbBODMwRUWUUFc5TzY4TyQIQCNOPWcu>

【提出方法】 以下の手順に従って課題を提出してください。



- ① Microsoft Word を使用し、自由形式ですべての設問に回答してください。
入学前課題プログラム HP 内、＜参考資料＞に掲載の「レポート課題テンプレート」に従い、データで作成してください。(印刷物に手書きをすることは不可)。
- ② 解答完了後、レポート用紙を Word 形式(課題3は Excel 形式を含む)から **PDF 形式に変換してください**。
変換は入学前課題プログラム HP 内、＜参考資料＞に掲載の「PDFファイルの作成方法」を参考に行ってください。
- ③ PDF のタイトルを全角入力で「(課題○)受験番号 8 ケタ氏名」にしてください。なお、課題3の場合、提出する PDF が 2 つあるため、以下のとおりタイトルをつけてください。
【課題1の場合】(課題1)29099999空野翼
【課題2の場合】(課題2)29099999空野翼
【課題3の場合】(設問2)1. ~5. の Excel 形式のレポート用紙 ⇒ (課題3)29099999空野翼①
上記以外の Word 形式のレポート用紙 ⇒ (課題3)29099999空野翼②

4. 連絡事項

- ① 提出されたレポートは入学後に採点し、優秀なレポートは学内ポータルサイトにて氏名やレポート等を公開します。
- ② 後日作成されたレポートデータの提出を求める場合があります。2022年9月19日(月)までデータを必ず保存しておいてください。

5. 問い合わせ先

関西学院大学神戸三田キャンパス事務室(教務・学籍・奨学金担当) 電話番号:079-565-7657

開室時間:(平日)9:00-11:30 12:30-17:00 (土・日・祝日)休み

※2021年12月24日(金)12:00~2022年1月5日(水)は窓口業務を休止します。

●課題1

以下の文献①－④を熟読の上、各設問に答えてください。

文献① ハンス・ロスリング他『ファクトフルネス 10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』、日経 BP、2019 年。

文献② アビジット・V・バナジー、エステル・デュフロ『絶望を希望に変える経済学 社会の重大問題をどう解決するか』、日本経済新聞社、2020 年。

文献③ 樋口裕城『書評:「絶望を希望に変える経済学:社会の重大問題をどう解決するか」を読んで』、行動経済学第 14 巻、pp.6-9、2021 年。(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbef/14/0/14_6/_article/-char/ja/)

文献④ Lucy Page and Rohini Pande, “Ending Global Poverty: Why Money Isn’t Enough,” Journal of Economic Perspectives, 2018. (<https://www.aeaweb.org/articles?id=10.1257/jep.32.4.173>)

(設問 1)

先進国と途上国という 2 つのグループ分けでなく、レベル 1-4 の所得階層別に国を分類する利点を 300 字程度で説明しなさい。

(設問 2)

アフーマティブ・アクションとは何か、300 字程度で説明しなさい。

(設問 3)

文献④の内容を 400 字程度で要約しなさい。

(設問 4)

文献①－④にもあるように、国際社会が抱える課題は格差や差別、貧困、移民、公衆衛生人口など多岐にわたる。あなたが考える最も重要な国際的な課題は何か、そしてどのようにそれを解決すべきか、あなたの考えを 5000 字程度で述べなさい。

【レポートの構成例】

1. はじめに(レポートの問題意識と目的を提示)
2. 歴史的な経緯と現状の整理
3. 根本的な原因および既存の政策の評価
4. 解決方法/政策提案
5. 結論(レポート全体の要約)

※この構成例はあくまで参考例である。構成や各節の見出しは自由に決めてくれて構わない。

●課題1 以上

●課題 2

以下の文献①～③を熟読の上、各設問に答えてください。

文献① 神島裕子『正義とは何か』中公新書、2018年。

文献② 宮島喬・鈴木江里子『新版 外国人労働者受け入れを問う』岩波書店、2019年。

文献③ Christopher Bertram, Do States Have the Right to Exclude Immigrants? London: Polity, 2018.

(設問1)

文献①を読んで、以下の2つの問いに答えなさい。

a) 政治哲学における「コスモポリタニズム」とはどのような考えか、「リベラリズム」との関連も踏まえて、500字程度で簡潔にまとめなさい。

b) 政治哲学において「ナショナリズム」を重視する立場とはどのような考えか、「コミュニタリアニズム」との関連も踏まえて、500字程度で簡潔にまとめなさい。

(設問2)

我が国で外国人労働者を受け入れるうえで、どのような問題があるだろうか。文献②の内容を踏まえながら、1000字程度でまとめなさい。

(設問3)

文献③において紹介されているクリストファー・ウェルマン(Christopher Wellman)という理論家は、国家が国境を越える人の移動を規制することを、いかなる観点から正当化しようとしているか。ウェルマンの主張およびその問題点について、文献③の内容を踏まえて、1000字程度でまとめなさい。

(設問4)

人は国境を越えて自由に移動できる「べき」だろうか。人には移動の自由という人権があり、たとえば極度の貧困状態にあえぐ人々にとって、移動の自由はその状態から抜け出す一つの重要な切り札であろう。他方で、人の国境を越える移動には、たとえば「頭脳流出」(brain drain)のような負の側面も付きまとう。高度な知識や技能をもった者がよりよい賃金や機会をもとめて国を出ていくことで、残された国の人々は医師・看護師不足、技術者不足などに悩まされ、そのことは人々の「健康権」の侵害にもつながりうる。現実的な実現可能性はともかく、社会や世界のあり方や方向性として、国境が開放され、人々が自由に国境を越えて移動できるほうが望ましいのだろうか、それとも、国家は人の移動をある程度制限できるほうが望ましいだろうか。そこで、

a) あなたは国境開放(open borders)と国境規制(closed borders)のどちらのほうが社会や世界のあり方として望ましいと考えるか。それはなぜか。

b) 国境開放／国境規制のどちらの立場を支持するとしても問題は生じる(たとえば、国境規制を維持するとしても、苦境にある人々の人権保障の問題がなくなるわけではないし、また、国境を開放すれば人々の機会は向上する

だろうが、労働市場は混乱するだろう)。自分が支持する立場がはらむ問題点を1つ以上指摘し、それにどのように対処できると考えるか。

文献①～③をそれぞれ熟読のうえ、a)および b)まとめて 3000 字程度で自分の考えを論理的に説明しなさい。

●課題 2 以上

●課題3

以下の文献①～③を熟読の上、各設問に答えてください。

①竹内淳(2012)『高校数学でわかる統計学』講談社

②伊藤公一郎(2017)『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』光文社新書

③松下貢(2019)『統計分布を知れば世界が分かる-身長・体重から格差問題まで』中公新書

(設問1)

1. 「回帰分析」とは何か、どのような用途に用いられるか 100～200 字で説明しなさい。その際、以下のキーワードを最低一回ずつ利用し、その都度、アンダーラインを施しなさい。

キーワード:最小二乗法、残差、決定係数

2. 「相関係数」について 50～100 字で説明しなさい。その際、因果関係という用語を利用し、アンダーラインを施しなさい。

(設問2)

表計算ソフト Excel を用いて、以下の 1.～5.に答えなさい。なお、1.～5.は入学前課題プログラム HP 内、<課題 3に関する資料>にデータがあります。必要に応じて(Excel の使い方など)、山下隆之他(2014)『はじめよう経済学のための情報処理』日本評論社の第4章を参考にしてください。また、Excel などのソフトの使い方がわからない場合の検索の仕方も練習してみてください。

1. 「総合政策学部入学前教育プログラム(2022 年 4 月入学生用)」内、<課題 3 に関する資料>の「データセット」をダウンロードし「国内総生産(支出側)」と「民間最終消費支出」について与えられたデータの平均値、中央値、標準偏差、最小値、最大値をそれぞれ求めなさい。平均値は AVERAGE 関数、中央値は MEDIAN 関数、標準偏差は STDEV 関数、最小値は MIN 関数、最大値は MAX 関数を利用すること。

2. CORREL 関数を用いて、「国内総生産(支出側)」と「民間最終消費支出」の相関係数を求めなさい。

3. 被説明変数を「民間最終消費支出」、説明変数を「国内総生産(支出側)」として、回帰分析をする場合の切片、傾き、決定係数を求めなさい。切片は INTERCEPT 関数、傾きは SLOPE 関数、決定係数は RSQ 関数を利用すること。

4. Excel により縦軸「民間最終消費支出」と横軸「国内総生産(支出側)」の散布図を作成しなさい。グラフには、回帰直線と推計された回帰式、決定係数も表示させなさい。

5. 分析ツールにより、被説明変数を「民間最終消費支出」、説明変数を「国内総生産(支出側)」として回帰分析し、切片、傾き、決定係数と説明変数の p 値を求めなさい。

*必要に応じて(「回帰分析」がない場合)、「ツール」→「Excel アドイン…」→「分析ツール」→「OK」としなさい。

(設問3)

文献①②を熟読の上、「データを使って因果関係を明らかにするにはどうすればよいのか」というタイトルで、800～1200 字の小論文を書きなさい。データ分析から因果関係を導く意味や効用があるのか、という内容を含んでなければなりません。ただし、その際、以下のキーワードを全て最低1回ずつ使用し、キーワードにはすべてアンダーラインを施しなさい。

【キーワード】逆の因果関係、標本サイズ、バイアス、自然実験、パネルデータ

●課題3 以上

II. 総合政策学部での学びを始めるにあたっての準備

入学までの間に、高校までの学びを復習・勉強してください。特に、普段から新聞・テレビ等の報道に関心を持ち、総合政策に関連する様々な問題・課題に対して自ら考える習慣をつけましょう。総合政策学部では、1年生での必修科目あるいは重要な科目に以下のものがありますが、これらの学びにそなえて、しっかり準備をしておくことを強く勧めます。

1. English Communication (通称 EC)

英語教育プログラム(ELP)にもとづき、1～2年次に週4回、100%英語だけの授業を受けます。なお、外国人留学生入試で合格された方は「English Communication」と「日本語」が週2回ずつ用意されています。

また、入学前に自宅等のパソコンで受験いただく TOEFL ITP®テストデジタル版の結果にもとづいて、2つのコース(ストリーム)にクラス分けされます。入学までの間に自らの英語コミュニケーションスキルを磨いておきましょう。特に留学を希望される方は TOEFL の得点が必要です。事前の勉強をお勧めします。

2. コンピュータ演習

1年次に「コンピュータ演習」で主に Word と Excel を学習します。各自、自らのITスキルを磨いておきましょう。特に、タッチタイピング(ブラインドタッチ)を練習しておいてください。

3. 総合政策A・B

総合政策Aでは政治学の一分野である公共政策学の基礎知識や手法を、総合政策Bでは経済学の基礎知識と近年の経済事情を学びます。現代社会や政治・経済の分野を復習・勉強するとともに、ニュースを見る・新聞を読むといった日常的な学びを始めてください。また、総合政策 B では中学校レベルの数学を使います。方程式、1

次関数などについてよく復習しておいてください。

4. 数理・統計・調査

総合政策学部では卒業に必要な単位として、「数理・統計・調査」という科目区分から、1科目2単位以上を修得することが求められています。1年生では「総合政策のための数学」、「数理科学の基礎」、「統計学Ⅰ」、「統計学Ⅱ」が履修でき、これらの科目に取り組むために以下の内容について高校数学を復習・勉強しておきましょう。

- ・式の計算
- ・2次関数のグラフ
- ・場合の数と確率
- ・平方根
- ・指数(関数)
- ・対数(関数)

以上